

## 基本目標3 母性と乳幼児の健康の確保と増進

### 施策目標1 子どもや母親の健康の確保

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
1	87	妊産婦訪問指導の充実	妊産婦に対して日常生活指導を行い、疾病の予防や早期発見に努めるとともに健康の保持、増進を図ります。	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施（必要に応じて産後うつ質問票を利用して支援） 670件	継続して実施	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施（産後うつの質問票を利用して支援） 661件	A	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施（産後うつの質問票を利用して支援）	健康づくり課
2	87	新生児・乳児訪問指導の充実	全出生児を対象に新生児及び乳児の養育・栄養・生活環境・疾病予防など育児上必要な事項について助言をします。	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施 790件	継続して実施	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施 647件	A	保健師、委託助産師が家庭訪問を実施	健康づくり課
3	87	「ママ&パパ教室」の開催	妊婦及び夫に対し、学習の場を提供することによって、相互間のコミュニケーションを通じて連帯感を持たせ、出産・育児に自信が持てるようにします。	産前編3日間×5コース全15回、実79人初妊婦の参加率26.5%（産後編1日間×5コース全5回実54人）	継続して実施	産前編3日間×5コース全15回、実64人初妊婦の参加率24.8%（産後編1日間×5コース全5回実45人）	A	産前編3日間×5コース全15回（産後編1日間×5コース全5回）実施。	健康づくり課
4	88	先輩ママと「ママ&パパ教室」受講者の交流	妊婦と先輩ママの交流により、妊婦の育児の不安やストレスを軽減し、楽しく育児に取り組めるよう努めます。	「ママ&パパ教室」の開催に伴い、5回実施	継続して実施	産後編1日間×5コース全5回実施。	A	H29年度からひよこクラスへ名称変更。1日間×5コース全5回実施。	健康づくり課
5	88	母乳育児相談の推進	母親の授乳の不安を解消し、母乳による育児を推進します。	29回開催し、妊婦215人（3か月児健診時の母乳育児率61.3%）が参加	継続して実施	29回開催し、妊産婦173人（3か月児健診時の母乳育児率57.7%）が参加	A	助産師による相談を年間29回実施	健康づくり課
6	88	妊婦の喫煙とその家族の喫煙に対する指導・教育の実施	妊婦の禁煙とその家族の喫煙に対する指導方法を確立し、教育を行います。	妊娠届出時にて喫煙妊婦全員に個別指導 28件	継続して実施	妊娠届出時にて喫煙妊婦全員に個別指導 22件	A	妊娠届出時にて喫煙妊婦全員に個別指導	健康づくり課
7	88	定期的な家庭訪問の実施（支援が特に必要な妊産婦・乳幼児）	保健師などの母子保健に関わるスタッフが家庭訪問を行います。	養育支援家庭訪問事業とともに実施	継続して実施	養育支援家庭訪問事業とともに実施	A	養育支援家庭訪問事業とともに実施	健康づくり課
8	88	母子保健推進員活動の充実	地域に密着した子育て支援を推進し、妊娠や出産に関する不安・悩み・問題点などを把握し、早期に対処できるように市と連携を進めます。	推進員：131人、活動件数：6,078件	継続して実施	推進員：131人 活動件数：5,379件	A	推進員：131人 活動件数：6,000件（見込み）	健康づくり課
9	89	母子健康手帳の交付	母性の保護、育児などの知識の普及、不安の軽減及び相談・助言をします。	689人の交付者へ100%の指導を実施	継続して実施	555人の交付者へ100%の指導を実施	A	交付者へ全員面接、相談を実施	健康づくり課

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
10	89	しあわせ妊婦健康診査受診票の交付【再掲】	妊婦の健康管理と経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産を迎えることができるよう、妊婦健康診査受診票を14枚交付します。	受診票利用件数 8,269枚	継続して実施	受診券利用件数 6,709枚	A	継続実施中	健康づくり課
11	89	マタニティ&チャイルドマーク車用ステッカー等の交付	妊婦・出産・育児に関する安全性と快適さの確保を目的とし、妊産婦や乳幼児にやさしい環境づくりを推進するため、専用ステッカー及びキーホルダーを交付します。	車用ステッカーの交付数：751枚、キーホルダーの交付数：18個	継続して実施	車用ステッカーの交付数：396枚、キーホルダーの交付数：200個	A	妊娠届出時に、全妊婦に対して車用ステッカーまたはキーホルダーを利用者に選んでもらい交付する。	健康づくり課
12	89	不妊治療費の助成	不妊治療には多額な費用と精神的負担が大きいため、少子化対策の一環として、不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図ります。	申請者 58件へ助成	継続して実施	申請者84件へ助成	A	H28年度からの「群馬県不妊に悩む方への特定治療支援事業」の制度変更に伴い、要綱改正を検討中。	健康づくり課
13	90	保健師による「お誕生コール」の実施	出産直後の母親へ保健師が電話することによって、出産後の状況を早期から把握し、子どもの成長・発達に見合った対応をします。	保健師の電話連絡 671件	継続して実施	保健師の電話連絡 560件	A	保健師の電話連絡	健康づくり課
14	90	養育医療給付事業の推進	入院加療を必要とする未熟児（1歳未満）に対して、指定医療機関における医療費の自己負担について公費負担します。	給付数 39件	継続して実施	給付件数 39件	A	継続実施中	健康づくり課
15	90	予防接種の実施	新生児・乳児訪問時に予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、麻しん風しん混合、水痘、四種混合、日本脳炎など）の必要性を説明し、定期予防接種予診票を配布し、実施します。また、未接種者には、各種乳幼児健康診査時等に早期接種を勧めます。	乳幼児個別予防接種 79.7%（ポリオも個別接種に移行）	継続して実施	乳幼児個別予防接種 78.8%（ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、麻しん風しん混合、水痘、B型肝炎、四種混合、日本脳炎の平均接種率）	A	継続実施中	健康づくり課
16	90	乳幼児健康診査の実施（3か月、7か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳児）	3か月児、7か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児において各年齢で注意すべき病気や障がいの早期発見や育児不安の軽減に努めます。	平均受診率91.2%	継続して実施	平均受診率94.7%	A	平均受診率94.0%（見込み）	健康づくり課
17	91	ブックスタート事業の推進	赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合うひとときのきっかけを作るために、7か月児健康診査の際に、地域全体で子育てを支援しているというメッセージを含め、ボランティアによる読み聞かせを行うとともに絵本を贈呈します。	桐生市保健福祉会館 15回 492人、新里総合センター 10回 113人、黒保根保健センター 2回 3人 合計27回 608人	継続して実施	桐生市保健福祉会館 13回 440人、新里総合センター 10回 105人、訪問・その他 6人 合計23回 551人	A	桐生市保健福祉会館 13回 440人（見込み）、新里総合センター 10回 105人（見込み）、訪問・その他 6人（見込み） 合計23回 551人（見込み）	図書館
18	91	離乳食講習の実施	栄養や調理法について、講話や実習を通して、具体的な情報を提供します。	もぐもぐ離乳食：12回実施。第1子を持つ母親264人のうち参加率71.7%（ステップアップ離乳食：25回実施）	継続して実施	もぐもぐ離乳食：12回実施。第1子を持つ母親255人のうち196人参加。参加率76.9%。ステップアップ離乳食：23回実施。557人中448人参加。参加率80.4%	A	もぐもぐ離乳食：12回 ステップアップ離乳食：23回 実施予定	健康づくり課

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
19	91	育児相談の実施	育児不安解消のため相談に対応します。	育児不安解消のための相談に対応 30回 638件（実人員225人）	継続して実施	育児不安解消のための相談に対応 30回 692件（実人員306人）	A	育児不安解消のための相談に対応 24回	健康づくり課
20	91	「すくすく親子教室」の開催	2歳児歯科・3歳児健康診査の事後措置として開催し、不安のある親子への支援をします。	6日間×3コース 実78人（延322人）、63組に通知 39組参加 参加率 61.9%	平成26年度まで実施していた「なかよし親子教室」と統合し、継続して実施	5日間×4コース 実78人（302人）、61組に通知 42組参加 参加率 68.9%	A	5日間×4コースで継続実施中。	健康づくり課
21	92	事故予防のパンフレット作成・配布	乳幼児健康診査会場などにおいて、事故予防のパンフレットの配布と説明を行います。	7か月健診時に受診者へ配布	継続して実施	7か月健診時に受診者へ配布したり、健診室にポスターを掲示し、事故予防を呼びかける。	A	7か月健診時に受診者へ配布したり、健診室にポスターを掲示し、事故予防を呼びかける。	健康づくり課
22	92	乳幼児の事故・突然死症候群予防対策の推進	妊娠や出生の届出時、健康診査、家庭訪問、教室などにおいて、乳幼児突然死症候群の予防対策を推進します。	妊娠届出時にパンフレットによる周知と指導、妊娠届出者へ100%実施	継続して実施	妊娠届出時にパンフレットによる周知と指導。	A	妊娠届出時にパンフレットによる周知と指導。	健康づくり課
23	92	「1歳児かみかみ教室」の開催	栄養士及び歯科衛生士の講話と歯みがき指導を行い、早期からのむし歯予防に努めます。	18回 649人（参加率81.5%）	継続して実施	16回 受講者数523人（参加率86.7%）	A	年間16回実施予定。1歳児から基本的な生活習慣や食生活を身につけ、早期からむし歯予防につとめていく。受講者数530人（見込み）	健康づくり課
24	92	歯科相談・フッ化物歯面塗布の推進	1歳6か月～2歳児歯科、3歳児健康診査などで推進します。	1歳6か月、2歳児歯科、3歳児健康診査で実施、平均受診率87.5%	継続して実施	1歳6か月、2歳児歯科、3歳児健康診査で実施、平均受診率92.9%	A	1歳6か月、2歳児歯科、3歳児健康診査で実施。	健康づくり課
25	92	フッ化物洗口についての取組	歯みがきに加えて、歯質そのものを強化し、むし歯を予防します。	市内の保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校などで実施 ※すべての施設で実施しているわけではありません。	継続して実施	フッ化物洗口を13施設において実施	A	継続して実施	子育て支援課
						市内公立学校のうち実施校 3校		A	
26	93	親と子の良い歯のコンクール地区審査会	3歳児健康診査受診者の中から良い歯を持つ親子を表彰し、歯科保健に対する意識啓発をします。	対象者7組、参加者6組（参加率85.7%）	継続して実施	対象者18組、参加者14組（参加率78%）	A	3歳児健康診査受診者の中から良い歯を持つ親子を選出して表彰を行う。対象者8組、参加者6組（参加率75%）	健康づくり課
27	93	「むし歯予防教室」の開催	市内の各園に入園している年長児を対象として6歳臼歯を中心とするむし歯予防・歯みがき指導をします。また、フッ化物洗口などのむし歯予防に関する情報提供を行います。	40回開催し、園児832人（95.6%）、保護者626人（75.2%）に実施	継続して実施	39回開催し、園児692人（97.1%）、保護者544人（78.6%）実施。	A	参加園39園、参加園児791人見込み。年長児を対象とし、6歳臼歯などのむし歯予防や歯磨き指導を実施。	健康づくり課
28	93	子ども福祉医療費助成事業	中学校3年生までの子どもに対して、保健の向上と福祉の増進を図るために医療費を助成します。	中学校3年生までの全診療における自己負担分を助成 受給者数：12,692人、助成額：414,274千円	継続して実施	中学校3年生までの全診療における自己負担分を助成 受給者数：11,174人、助成額：413,890千円	A	中学校3年生までの全診療における自己負担分を助成 受給者数：10,955人、助成額：403,343千円	医療保険課
29	93	各種健康診断事業の推進	学校保健の向上及び進展を目指し、学校保健安全法に基づく市立各学校・幼稚園の児童・生徒・園児等の各種健康診断を実施する事業を推進します。	心臓健診・結核健診・（ぎょう虫検査）・尿検査・貧血検査等の実施	継続して実施 ※学校保健安全法の改正により、ぎょう虫検査の廃止（平成28年度～）	市内の公立幼・小・中・高で実施 心臓健診2,730人、間接撮影751人、結核検査254人、尿検査8,868人、貧血検査1,721人	A	市内の公立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の該当する学年等で実施中	学校教育課

## 施策目標 2 食育の推進

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
1	94	家庭への配布物による食の情報提供や啓発	給食の献立表などの配布物と併せて、食に関する情報を提供し、児童の健全育成を図ります。	「給食だより」などを作成し、配布	継続して実施	給食の献立表の配布物や、食に対する情報提供を実施	A	給食の献立表の配布物や、食に対する情報提供を実施	子育て支援課
						8月を除く年11回「給食だより」を作成し、園児・児童・生徒の保護者に配布した。	A	引き続き作成及び配布を実施している。	学校給食中央共同調理場
2	94	学校給食の提供	園児や児童・生徒に安全・安心な学校給食を提供します。	市内の公立幼稚園・小学校・中学校に安全・安心でおいしい給食を提供。 栄養バランスと嗜好性、経済性また地場産業等に配慮した献立作成と食材の選定、調理方法の研究により、安心安全でおいしく内容豊かな給食の提供と充実に努めた。また、アレルギー対策としてアレルギーの詳細資料を配布するとともに、牛乳の代替食として麦茶、卵を主とする料理の代替食として卵アレルギーのないソーセージを提供した。	継続して実施	市内の公立幼稚園・小学校・中学校に安全・安心でおいしい給食を提供した。栄養バランスと嗜好性、経済性また地場産業等に配慮した献立作成と食材の選定、調理方法の研究により、安全・安心でおいしく内容豊かな給食の提供と充実に努めた。また、食物アレルギーを持った園児・児童・生徒の対応として、食物アレルギー対応マニュアルを基に、食材の詳細献立資料の配布や卵・乳アレルギーの園児・児童・生徒に代替給食を提供した。	A	市内の公立幼稚園・小学校・中学校、群馬県立桐生特別支援学校に、栄養バランスと経済性に配慮しながら、安全・安心でおいしい給食の提供に努めている。アレルギーを持った園児・児童・生徒の対応として、引き続き食物アレルギー対応マニュアルを基に、食材の詳細献立資料の配布や卵・乳アレルギーの園児・児童・生徒に代替食を提供している。	学校給食中央共同調理場
3	94	食に関する講座の開催（保育所・幼稚園・認定こども園）	食に関する指導を充実し、食の正しい知識と望ましい食習慣の形成を図ります。	調理実習に併せ、園児に対し、望ましい食習慣を啓発	継続して実施	食の正しい知識、望ましい食習慣の形成について指導を行う	A	食の正しい知識、望ましい食習慣の形成について指導を行う	子育て支援課
						市立7幼稚園で実施	A	市立7幼稚園で実施中	学校教育課
4	95	食に関する講座の開催（小・中学校）	食に関する指導を充実し、食の正しい知識と望ましい食習慣の形成を図ります。	栄養教諭および学校栄養職員による児童、生徒及び保護者を対象にした食に関する指導を実施	継続して実施	栄養教諭・学校栄養職員と連携した「食に関する指導」授業実践延べ81クラス 2,234人実施	A	栄養教諭・学校栄養職員と連携した「食に関する指導」授業実践実施中	学校教育課
						栄養教諭および学校栄養職員が給食時間や特別活動の時間に市内の公立全幼稚園・全小中学校を訪問し、食に関する指導を実施した。小学校 439回 中学校 161回 幼稚園 17回	A	引き続き市内の公立全幼稚園・全小中学校、群馬県立桐生特別支援学校に訪問し、食に関する指導を実施している。	学校給食中央共同調理場
5	95	作物収穫のよろこび体験（保育所・幼稚園・認定こども園）	夏野菜・芋ほりなど、季節によって色々な野菜の収穫を通して食の喜びを体験させます。	保育所、幼稚園及び認定こども園の園庭などで、園児が野菜を育て、収穫する体験を実施	継続して実施	野菜の栽培の楽しみや、収穫の喜びを体験	A	野菜の栽培の楽しみや、収穫の喜びを体験	子育て支援課
						実施園数 12園（12園中）公立幼稚園(7園)私立幼稚園(3園)私立認定こども園（2園）で実施。（※私立幼稚園1園が休園）	A	実施園数 9園（9園中）公立幼稚園(7園)私立幼稚園(2園)で実施を継続 ※認定こども園（幼稚園部分）業務は子育て支援課に移管 ※私立幼稚園1園は認定子ども園に移行	学校教育課

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
6	95	食事に対する悩み相談の支援（保育所・幼稚園・認定こども園）	偏食・アレルギーなどの相談に応じ、食事のとり方や調理の工夫など助言します。	保育所、幼稚園及び認定こども園におけるアレルギー対応として、除去食を提供するなどの対応を実施	継続して実施	偏食・離乳食・アレルギーなどの食事の取り方や調理の工夫を相談に対応	A	偏食・離乳食・アレルギーなどの食事の取り方や調理の工夫を相談に対応	子育て支援課
						市立7幼稚園で実施	A	市立7幼稚園で実施中	学校教育課
7	95	園児の調理実習の推進（保育所・幼稚園・認定こども園）	調理の楽しさや食事の大切さ、ものを大切にすることを学びます。	保育所、幼稚園及び認定こども園において、調理実習等を実施	継続して実施	調理をしながら食事の大切さ、作ることの楽しさを学ぶ	A	調理をしながら食事の大切さ、作ることの楽しさを学ぶ	子育て支援課
						市立7幼稚園で実施	A	市立7幼稚園で実施中	学校教育課
8	96	乳幼児に対する栄養指導	離乳食講習・各種健康診査・育児相談・各種教室などで、規則正しい食習慣の形成や家族と一緒に食べること（共食）の大切さ等を普及啓発し、家庭における食育の推進を支援します。	各種健診、教室、育児相談、電話相談などで実施（地域保健報告数2,542件）	継続して実施	各種健診、教室、育児相談、電話相談などで実施（地域保健報告数2,839件）	A	継続実施中 新規事業においてすこやか栄養相談事業開始	健康づくり課
9	96	地域活動における食育の推進	桐生市食生活改善推進協議会と連携し、幼児期から学童期までの食育の普及に努めます。	おやこの食育教室、出前食育教室、調理実習等で実施	継続して実施	おやこの食育教室、出前食育教室、調理実習等で実施	A	継続実施中	健康づくり課
10	96	インターネットを活用した情報提供	桐生市ホームページにおいて食育コーナーを開設し、各課の取り組みや食育情報を掲載します。	開設に向け準備	開設し継続	ホームページを開設し、食育の取組や情報提供を掲載	A	ホームページを開設し、食育の取組や情報提供を掲載	子育て支援課
						H26年度に開設し、情報を提供している	A	継続実施中	健康づくり課
						「桐生市の食育」コーナーの農業振興館より、桐生市の特産物・展示会・直売所等の情報を紹介。	A	「桐生市の食育」コーナーの農業振興館より、桐生市の特産物・展示会・直売所等の情報を紹介。	農業振興課
						公民館で行う料理教室等の事業や講座について、ホームページに掲載し、参加募集を行うとともに、取り組みについて紹介している。	A	公民館で行う料理教室等の事業や講座について、ホームページに掲載し、参加募集を行うとともに、取り組みについて紹介する。	生涯学習課
						市立17小学校の「食に関する指導」実践事例を桐生市ホームページに掲載	A	市立10中学校の「食に関する指導」実践事例を桐生市ホームページに掲載予定	学校教育課
						献立表、給食だより、給食の写真等を桐生市ホームページ等に定期的に掲載した。また、クックパッドの桐生市公式ページを利用し、給食のレシピを紹介した。（8件）	A	引き続き、ホームページ等で積極的に情報発信を実施している。	学校給食中央共同調理場

### 施策目標 3 思春期保健対策の充実

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
1	97	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進	近年、青少年による喫煙・飲酒行動や薬物乱用が低年齢化しており、個人的要因とともに、周囲の人の行動や態度、マスメディアなど社会的要因による影響が考えられます。 児童・生徒の喫煙・飲酒・薬物乱用に関わる実態を把握し、保健体育の授業や特別活動を中核とした授業実践や啓発活動を学校教育全体で取り組むとともに、家庭や地域との連携を図りながら生活環境・社会環境の改善に努めるなど、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育を推進します。	[喫煙・飲酒・薬物] 児童・生徒の発達段階を考慮し、体育（小学校6年）・保健体育（中学校3年）及び特別活動をはじめとする学校教育全体を通じて実施。街頭補導時に発見した場合、注意を徹底（飲酒、喫煙、薬物など含む） 年間補導回数：376回、延べ人数：2,519人 なお、薬物については、全中学校と16小学校、商業高校（全・定）で薬物乱用防止教室を開催。多くの小中学校で外部講師を招いている	継続して実施	児童・生徒の発達段階を考慮し、体育（小学校6年）・保健体育（中学校3年）及び特別活動をはじめとする学校教育全体を通じて実施。 薬物については、全中学校と全小学校（1校隔年実施で28年度実施）、特別支援学校（中学部）、商業高校（全・定）で外部講師を招いて薬物乱用防止教室を開催。	A	児童・生徒の発達段階を考慮し、体育（小学校6年）・保健体育（中学校3年）及び特別活動をはじめとする学校教育全体を通じて実施中。 薬物については、全中学校と全小学校（1校隔年実施で来年度実施予定）、商業高校（全・定）で外部講師を招いて薬物乱用防止教室を開催予定。	学校教育課
						街頭補導時に発見した場合、注意を徹底（飲酒、喫煙、薬物など含む） 年間補導回数：369回、延べ人数：2,582人	A	街頭補導時に発見した場合、注意を徹底（飲酒、喫煙、薬物など含む）	青少年課
2	97	性や性感染症に関する知識の普及	学校・家庭・地域の連携による性や性感染症に関する教育を推進します。	児童・生徒の発達段階を考慮し、エイズ指導も含めて保健学習等で全小・中学校で実施。助産師や学校薬剤師など外部講師として招いて講演会を実施している学校もある。	継続して実施	児童・生徒の発達段階を考慮し、エイズ指導も含めて保健学習等で全小・中学校で実施 小学校9校、中学校5校、特別支援学校（小・中学部）、商業高校（全・定）で自校の教員や外部講師を招いて講演会を実施	A	児童・生徒の発達段階を考慮し、エイズ指導も含めて保健学習等で全小・中学校で実施中 自校の教員や外部講師として招いて講演会を実施している学校もある。	学校教育課

### 施策目標 4 小児医療の充実

NO	ページ	事業名	施策の概要	基準年実績（平成25年度）	事業目標（平成31年度）	平成28年度実績状況	実績評価	平成29年度取組状況	担当課
1	98	小児救急医療体制の充実への働きかけ	各保険医療機関と連携し、小児科医の確保や医療体制の確立への働きかけに努めます。	桐生市医師会立平日夜間急病診療所による救急医療（内科、小児科）を確保するため、継続して運営費の補助を実施	継続して実施	平日夜間急病診療所運営費の補助を継続して実施するほか、小児科の医師による、子どもの急病時の対応方法等についての講演会を実施	A	補助を継続して実施するほか、昨年同様の講演会を実施予定。 また、平日夜間急病診療所や#8000番を周知するためのチラシを各種健診にて配布。	健康づくり課